（別紙様式１）

入学料免除・入学料徴収猶予 願

年　月　日

東京農工大学長　　殿

学府・研究科　　専攻

令和 年度入学　　受験番号　　番

氏　名

下記のとおり学則並びに授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程により，

入学料の（免除／徴収猶予）を受けたくお願いいたします。

記

1　免除（徴収猶予）額　　２８２，０００ 円

2　免除（徴収猶予）の理由（詳細に記入のこと）

家庭状況調書

（※印は該当箇所を○で囲む）

受験番号		フリガナ 氏名		（　才）
学府・研究科		専攻		休学歴 期間 年 月～ 年 月 理由

住所等

本人
（〒　　）
自宅電話　－　－　携帯電話（必記）　－　－
E-Mail（必記）
研究室　－　－　（指導教員名　　）

家族
（〒　　）
電話（必記）　－　－

	続柄	氏名	年齢	現在の職業	在職期間（年）	給与所得の収入金額計（税込）（千円）	給与所得以外の所得金額計（千円）
	本人						
就学者を除く家族	父						
	母						
	配偶者						

収入・所得状況

（注）金額単位：円

区分		本人（円）	父（円）	母（円）	（円）	（円）	（円）	配偶者（円）
給与所得の収入金額（税込）	給料・賃金							
	年金・恩給							
	雇用保険							
	各種手当							
	奨学金							
	計							

区分		本人（円）	父（円）	母（円）	（円）	（円）	（円）	配偶者（円）
給与所得以外の所得金額	営業							
	農林水産業							
	不動産							
	自由業							
	利子・配当							
	親戚等の援助							
	臨時所得 退職金（　年 月所得）							
	臨時所得 保険金（　年 月所得）							
	臨時所得（　年 月所得）							
	計							

就学者

本人　通学区分　自宅・自宅外

本人 奨学金受給状況
名称：　月額（　）千円　年 月～ 年 月受給
名称：　月額（　）千円　年 月～ 年 月受給
令和7年度4月 以降給付受給が決定している奨学金を記入（日本学生支援機構など貸与奨学金を除く）

左記のうち令和7年度受給金額合計（年額）（千円）

続柄	氏名	在学学校（学年）	設置区分	通学区分	前年度状況（国立学校の就学者のみ記入） 授業料免除状況 前期	後期	授業料年額（千円）
	（　）才	※ 小学校 中学校 高校 大学 高専 専修学校（高等課程） 専修学校（専門課程） 学校名　（　）年	※ 国立 大学法人 公立 私立	※ 自宅 自宅外	※ 無 全額 半額	※ 無 全額 半額	
	（　）才	※ 小学校 中学校 高校 大学 高専 専修学校（高等課程） 専修学校（専門課程） 学校名	※ 国立 大学法人 公立 私立	※ 自宅 自宅外	※ 無 全額 半額	※ 無 全額 半額	
	（　）才	※ 小学校 中学校 高校 大学 高専 専修学校（高等課程） 専修学校（専門課程） 学校名　（　）年	※ 国立 大学法人 公立 私立	※ 自宅 自宅外	※ 無 全額 半額	※ 無 全額 半額	

学業成績

前年度修得単位数（注1）	S・A	B	C	計(X)
	①	② 単位	③ 単位	単位
得点（注2）	S・A	B	C	計(Y)
	①×3	②×2	③×1	

前年度までの全学年での総修得単位数　単位

大学記入欄	
成績評点(Y÷X)	
高校成績	
入試順位	

注1）所属１年生について
学部１年生は無記入とすること。

注2）得点欄の記入方法
前年度修得単位数のAを３で、Bを２で、Cを１でそれぞれ乗じた数字及びその合計を記入すること。

⑥学業成績について 教職・博物館に関する科目は含めないこと

特別控除

母子・父子世帯	※ 母無 死亡・生別（　年　月）理由（　） 父無 死亡・生別（　年　月）理由（　）	無し・有り
障害者のいる世帯	続柄（　）※障害者・原爆被爆者・その他（　）手帳番号（　） 続柄（　）※障害者・原爆被爆者・その他（　）手帳番号（　）	人
生活保護世帯	※ 無し・有り	無し・有り
申請者本人が独立生計者	※ 該当しない・該当する	無し・有り
長期療養者のいる世帯	続柄（　）療養期間 年 月から ※入院・通院・自宅療養 半年当たり療養費 千円 続柄（　）療養期間 年 月から ※入院・通院・自宅療養 半年当たり療養費 千円	合計（年額）（千円）
主たる家計支持者別居の世帯	別居理由　1カ月当たり住居・光熱費等 千円	
火災・風水害・盗難等の被害を受けた世帯	被害内容　被害額 千円	

大学認定	世帯人員　人	学力	適格・不適格	申請区分	一般 家計特例 学力特例 事情（家計支持者死亡・災害・その他）

□ 欄は大学認定のため記入しないこと